新年あけましておめでとうございます

生徒会を代表して始業式で木山君が決意表明！

新年明けましておめでとうございます。昨年は、保護者のみなさまには、学校行事をはじめ、ＰＴＡ活動等にご理解ご協力いただきましてありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。

歌手の中島みゆきさんの歌に『時代』というのがあります。その歌詞の中に「まわるまわるよ、時代はまわる」という下りがあります。この歌を聴くたびに、数十年生きてきたことを振り返りながら、よい意味でも悪い意味でも時代は回り続けているんだと実感しています。「開いているのが当たり前、いつでもどこでも」感覚のコンビニエンスストアで、働き手の不足から正月の営業を休止するということが話題になっていました。私が子どもの頃、正月の三が日はほとんどの店が閉まっていました。ですから必要なものは年末に準備をしなければなりません。それが当たり前だったので特に不自由することもありませんでした。何か便利さを求め続けてきた中で、大切なことを見過ごしてきたような気もします。「正月くらいゆっくりしたい」そんな人として当然の要求が時代を巡らせるのかもしれません。

さて、令和二年がスタートしました。三学期が始まり、学校にはまた元気な生徒の声が戻ってきました。七日の始業式では、学校長から、「今年は、東京オリンピックが開催され、出場を目指す選手にとっては休みなくトレーニングが続きます。目標があるから頑張れるのです。自分自身で立てた目標・自分が納得した目標これが大切です。先生の目標は、君たちの学校生活アンケートで「湖東中が好きだ」と答えた生徒が八十八％、「学校は楽しい」と答えた生徒が八十五％あったことから、この数値をもっと上げることが私の目標です。具体的には、仲間づくりの仕組みを整えたり、授業の中、君たち自身が「わかった」「やった」と思える回数を増やす仕組みを整えたりしたいと思います。年末に「良いお年を！」とたくさんの生徒諸君が声をかけてくれました。今年も、気持ちの良いあいさつを交わし、みんなが気持ちよく生活できる学校を作っていきましょうね。良い学校・良い仲間・良い先生の元で、君たちの目標が達成でき、君たちひとりひとりが成長してくれることを期待しています。」という話がありました。

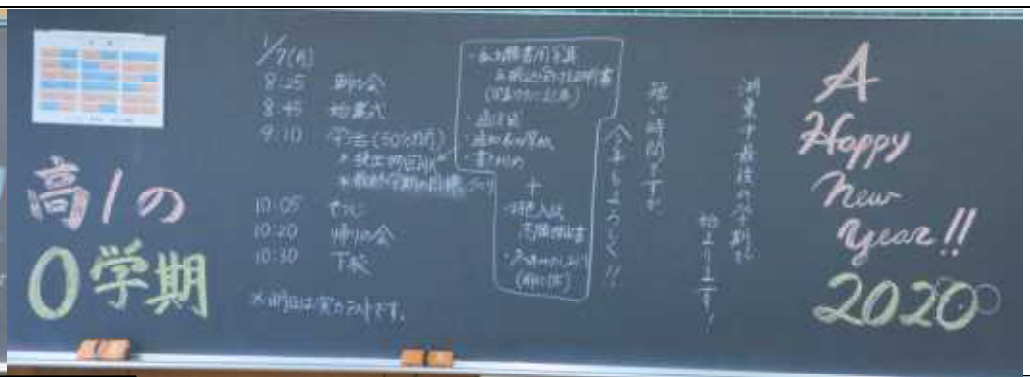
その後、生徒を代表して、生徒会長の木山君が、「今年は自分としては勉強を頑張りたい。生徒会としては掃除を頑張れるようにしたい。そして、いろんな行事で頑張ってこられた先輩のみなさんをめざして頑張りたい。」と、今年の決意を述べました。

三学期は、各学年それぞれにとってそれぞれの意味があります。三年生は、進路実現と、最後の行事である卒業式で、後輩達にどんなメッセージを伝えるのか。二年生は最上級生になるために、そして一年生は、四月から湖東中にやって来る六年生たちの先輩になるために、それぞれ自覚と責任を持った言動をしていく必要があります。「一月は行ってしまう。二月は逃げてしまう。三月は去ってしまう。」と言うように、三学期はあっという間に過ぎ去っていきます。慌ただしい毎日の中で、しっかり前を見て、自分自身を見つめていきましょう。

黒板に思いを込めて！
一つ一つのことばに味がある！！

冬休みの最終日、始業式の準備に体育館へ向かう途中、三年の教室の黒板にメッセージが書かれてあるのを見つけました。

立ち止まって一つ一つのメッセージを読んでいると、担任の先生それぞれの思いが伝わってきます。特に三年生は、二ヶ月ちょっとで卒業です。「高一の０学期」「湖東中学校の最後の学期が始まります」「最高の一年にしよう」「何か楽しい新しいことが起こりそうな予感」一つ一つの言葉に味わいがあります。



インフルエンザに要注意！

今年に入り、東近江市ではインフルエンザによる出席停止者の報告が増えています。湖東中では、まだインフルエンザの出席停止者はいませんが、油断はできません。手洗い、うがいを徹底し、こまめに教室の換気を行い、休日には不必要な外出や人混みを避けるなど、未然に防いでいきたいものです。

特に３年生は、受験の時期が近づいてきました。自分自身の体調管理に努めてください。